




5. 腔式手術予定表

主治医 【 】
 パス説明者 看護師【 】

	入院時	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	2日目	3日目	4日目
	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
安静・活	病院内自由です			ベッド上で安静にしてください 寝返りはうつことができます 足を曲げ伸ばしすることができます	朝からベッドを起こして座りましょう 日中、病棟内を歩くことができます (始めは看護師と一緒にいきます)	病院内自由です		
食事	常食です	夕食を食べた後は絶食です	時〜絶飲食です		朝から水分が摂れます 嘔吐や嘔気がなければ 昼〜流動食 夕〜五分粥です	朝〜全粥です 昼〜常食です		
清潔	入浴できます	看護師が毛剃りをします その後、入浴してください	朝はいつも通り洗顔してください 指輪、義歯、時計、ピアス、コンタクトレンズ、めがね、ヘアピン等は外してください	看護問題 #2. 術後出血 異常な出血が無い観察させていただきます	体を拭いて着替えをします 尿を出す管が入っているため陰部を洗います	シャワーができます		
観察	1日1回、検温をします		手術前に、検温をします	4時間ごとに検温をします	6時、10時、18時に検温をします	10時、18時に検温をします	10時に検温をします	
情報の提供	 診断書・証明書が必要な方は、入院中に正面受付③番窓口	主治医から手術についての話があります 月 日 時 看護問題 #1. 疾患や手術に対する不安 分からないこと、不安なことなど何でもお伝えください	手術は、時 分からの予定です 髪の毛の長い方は、ゴムで2つに結んでください 出発前にトイレを済ませてください 寝衣のまま、歩いて手術室に行きます	手術後、ご家族に手術後の説明があります 看護問題 #3. 疼痛 痛みが軽減できるよう援助させていただきます 我慢せずお伝えください	看護師から退院後の生活の指導があります (わからないことは聞いてください) 看護問題 #4 腸蠕動の低下 麻酔の影響で腸の動きが悪くなり、お腹が張ったり、ガスが		看護問題 #5 退院後の日常生活の不安 退院後の生活の注意点について説明いたします。 分からないこと、不安なことなど何でもお伝えください	
処置		20時に浣腸をします。 (便が出たかお尋ねします) 手術までに用意していただくもの ・タオル4~5枚 ・オムツ1個 ・生理用ナプキン ・少し大きめのショーツ ・ティッシュ1箱	朝浣腸をします (便が出たかお尋ねします) 弾カストッキングを履きます	酸素マスクをします → 朝、マスクを外します 下肢の血流を良くする機械がつきます → ベッドの横で立つことができれば外します 尿を出す管が入っています → トイレまで歩けたら管を抜きます			術後の診察があります 弾カストッキングを脱ぎます 退院可能です	
点滴		21時 下剤(プルゼニド2錠)をお渡しします 必ずお飲みください	朝、を内服してください	持続点滴があります → 持続点滴は本日で終了です 抗生剤の点滴があります →				夕方の抗生剤が終わったら点滴の針を抜きます
内服								
検査		眠れない時は、安定剤があります (常用されている眠剤があればそちらを服用してください)			採血があります 昼から、術前に内服していた薬を再開します			

※これは入院中の基本的な経過をお知らせするものです。退院までの経過には個人差があり、予定が変更になる場合があります。 2010年7月 第2版 改訂